

■ 第41回 JASTA主催 SSTVアクティビティコンテスト

コンテスト事務局の JA3WZT 田辺さんの体調不良で、2018年から2019年までの2年間、アクティビティコンテストを中止しておりました。今回、JA2HYDが事務局代理で行うことになりました。これまでのようなコンテスト運用は出来ないと思いますが、頑張りますので、皆様よろしくお願いします。

期間：国際標準時間の8月1日(月)0時～8月31日(水)24時

(日本時間 8月1日 9時～9月1日 9時まで)

参加資格：アマチュア無線の資格を持ち、SSTVの免許を受けている局。

運用周波数：3.5MHz帯以上で自局に免許された周波数帯

(電波法および郵政省令に定められた周波数帯で運用)。

なお、14MHz帯については、14.230MHz周辺はDX通信とのQRMが多いとの各国DXerからのクレームが大きいので、14.330MHz中心で運用すること。

空中線電力：免許された電力の範囲内

コンテストナンバー：RSV+001から始まる連番。連番の桁が足りなくなったら桁を増やしてください。

例えば信号レポートが595で、期間中20局目のQSOであれば、

コンテストナンバーは「595020」。

ポイント：可能なかぎり、自分の顔が写っている画像(手描きのイラストも可)に自局のコールサインとコンテストナンバーを入れて送信する。完全なコンテストナンバー交換をもって下記に示すポイント点とする。画像の白黒、カラーは問わない。コンテストでのQSOは、相手局と1対1とし、ラウンドQSOは認めない。海外局との交信もポイントとして認める。なお、同一局との交信は周波数にかかわらず一日一回のみ有効。

注意：同一日は、国際標準時間を基準として判定すること。時差の異なる海外局とのQSOにおいて、日本時間で日付が変わっていても国際標準時間で同一であればポイントとして認めない。

(1) 3.5～28MHz帯：1点(7MHz帯は7.1MHz以上の周波数での交信を推奨します)

(2) 50～430MHz帯：2点

(3) 1200MHz帯以上：3点

マルチ：バンドに関係なく以下の項目をマルチとして計上できる。

(1) JAのエリア(10エリア)

(2) JAを除くDXCCエンティティ(JDはDXCCのエンティティとしカウントする)

DXCCエンティティ内のエリア(例えば、W1とW2の2エリア交信しても、Wとしての1マルチのみ)はマルチとしてカウント出来ません。

(3) 運用日数

1日の運用 は1マルチとし最大10マルチ(10日以上運用をしても10とする)。

総得点 : (ポイントの和) × (マルチの和)。

例えば、14MHz帯で15局、50MHz帯で8局、430MHz帯で7局、
1200MHz帯で5局のコンテストナンバ交換した場合、交信ポイントは
 $15 \times 1 + (8 + 7) \times 2 + 5 \times 3 = 60$ となる。

さらにマルチがJAの10エリア、DXCC 5エンティティ、運用日数12日の場合、
総得点は $60 \times (10 + 5 + 10) = 1500$ となる。

エントリー部門 : 国内部門(J部門) : 日本国内からのエントリー局

海外部門(S部門) : 海外からのエントリー局

日本の局が海外カントリーから運用した場合この部門となる。

今回のコンテストで初めてサマリーを提出し初参加か否かの区別およびOM、YL(XYL)
の区別も記入願います。

賞 : 各部門、上位3位までに電子賞状を JASTA からメールにて送る。各部門参加局が10局に
満たない場合は、1位にのみ賞状を送る。

またニューフェース賞を、今回のコンテストが初参加の申告があった局の中から、得点が
1位の局に賞状を送る。

さらにYL(XYL)のエントリーがあった場合、その中で得点が1位の局にベスト YL(XYL)賞
として賞状を送る。

同一オペレータが、DXペディション等、国外で運用した場合は、JおよびSの2部門に
エントリーができます。

ログの提出 : ログは e-mail で提出をお願いします。

JASATが定めた書式のフォーマットで記入したサマリーおよびマルチに計上する交信
のログを、下記のアドレスにe-mailで送付する。なお **subject は自局コールサインと
して下さい。**

コンテストルール違反、サマリ シート記入不備の場合は書類不備として扱います。

サマリーシートの参加部門欄 に、エントリー部門(J、またはS)、今回のコンテストが
初参加か否かの区分、およびOM、YL(XYL)の区別を明記のこと。

JARLのコンテストサマリーに記入する場合、JAのエリア、DXCCカントリーのマルチは
合計して、バンドの欄に「エリア+DXCC」と追記しマ ルチプライヤーの欄に記入して
下さい。また運用日数のマルチについては、バンドの欄に「運用日数」と追記し、マルチ
プライヤーの欄にコン テストで運用した日数を記入して下さい。

JASTAが定める書式については、JASTA事務局のホームページ(**本ページ下端**)

を参照して下さい。MMSSTV に同梱されている **MMJASTA.exe** で集計すると提出書類が

簡単に作成できます。

ログの締切 : 2020 年9月 10日、これ以降は無効です。

ログの提出先 : e-mailの宛先

ja2hyd(a)jarl.com (a)はアットマーク@です

コンテスト後、大量のメールとファイルが届きます。ミス防止とと作業性を考慮し
subject(件名)とサマリー／ログの添付ファイルの両方の名前を自局のコール
サインとすること。

注意点 : ・QRM 防止のため、相手局を呼び出すときは、先に音声で呼び出し、応答を確認して
から画像を送信するようにしてください。

いきなり画像で呼び出すようなことは避けてください。

- ・CQを送信する際は十分にワッチし、音声で周波数が使われていない事を確認して
から送信してください。
- ・同一局との交信はHF、VHFを問わず1日1回のポイントしか認めない。クロスバンドに
よる交信は認めない。
- ・同一日は国際標準時間で定義する。
- ・同時に2波以上の電波の発射によるものはポイントとしない。
- ・ラウンドQSOを認めないので、実質少ないチャンネルしか使用できない周波数帯では
長時間周波数を占有しないように運用して下さい。
- ・バンドプランを遵守し、各局の自主的な判断で多くの局にチャンスが得られるように運用
を心掛けてください。
- ・コンテスト中、「自分の 自画像」を送らない局との交信も得点として認めますが、可能な
限り自画像を入れた画像で交信してください。
- ・参加者のみなさんの良識で、サマリシートの提出を、お願いします。

結果発表 : JASTA事務局のホームページ、CQ誌等に結果を掲載予定です。

その他 : 送信画像にJASTA のロゴマークを貼り付けて使用できるよう、JASTA事務局の
ホームページ上にロゴマークを置きますので、ダウンロードし積極的にご活用くだ
さい。特定局だけとのナンバー交換を避けて多くの局との交信を、また1日でも多く
の運用を楽しんでください。

上記の通り、1ヶ月間のコンテストを実施いたしますので、奮ってご参加ください。



JASTA ロゴマーク

**** The 41th (2020) JASTA SSTV Activity Contest Rules ****

Yoshi JA3WZT of the contest secretariat was ill, and the activity contest was canceled for two years from 2018 to 2019. This time, JA2HYD decided to do it on behalf of the secretariat. I don't think we can run a contest like before, but I will do our best to thank you.

1. Contest periods:

From August 1st 2020 (00:00 UTC) to August 31 (24:00 UTC)

2. Bands:

3.5MHz and all upper bands. Use Only frequencies which are authorized by each individual station license.

In addition, **on 20m band, operation around 14.330MHz is strongly recommended to reduce QRM with DX-SSB-QSO.**

3. Categories of Entry:

- a) "J" Category (Japanese only): Japanese domestic stations
- b) "S" Category (DX station): All stations operating outside of

Japan. If a Japanese station operates outside Japan, this will be considered a DX contact.

4. QSO Point:

Exchange the usual RSV plus a progressive QSO number starting with 001 which should be displayed in the picture exchange. Regardless of bands used, a station may only be worked once each UTC day .

If possible, during the exchange, include one's own face picture or some kind of illustration. QSO points authorized by bands.

3.5-28MHz ... 1 point

50-430MHz ... 2 points
1200MHz & upper ... 3 points

5. Multipliers:

Work all Japanese call sign districts (JA1-JA0 total 10) + DXCC Entities worked. Use DXCC List. Do not count Japan as a DXCC country + Number of days on the air. (10 days at the maximum

even if a station operates more than 10 days)

note: Prefix 7K-7N's are all JA1 area

6. Scoring:

The final score is computed by multiplying the sum of the QSO points by the sum of multipliers as described in Paragraph 5.

7. Contest awards:

1) A PDF (electric) award will be sent to the 1st, the 2nd and the 3rd Score of each sections. But when the number of stations are less than 10, awards will be sent to the 1st place winner only.

2) New face certificate will be sent to the 1st of new comers. so please annotate your summary sheets "new Comer" " on summary sheets.

3) YL (XYL) certificate will be sent to the 1st place YL (XYL) stations.

4) PDF award will be sent by e-Mail to each winner from JASTA.

8. Logs:

Summary sheets and Log sheets should be arranged and mailed to the Contest manager. Email contest Summary sheet and logs to: JASTA Contest Secretary [ja2hyd\(at\)jarl.com](mailto:ja2hyd@jarl.com) The log should be in a text file format. Email (text format) summary. Both Summary and logs should be forwarded to

[ja2hyd\(at\)jarl.com](mailto:ja2hyd@jarl.com)

By using MMJASTA.exe included in MMSSTV, you can easily create submission Summary and Log.

Assure you station callsign is in the e-mail subject line. ADIF/cabrillo format summary and log are acceptable.

9. Deadline for log entries:

Log entries must be received by September 10th. (UTC)

10. Regulations:

- 1) All Amateur Radio stations who has a license to transmit SSTV signal.
- 2) Output power: Up to maximum power officially authorized by the operators class license .
- 3) Both B/W and Color Picture QSO are accepted.
- 4) A contest QSO should be one station to one station QSO. Round table style QSO' s between multiple stations will not be counted.
- 5) Cross band QSO will not be counted as a contest QSO.
- 6) All the QSO; JA to JA station, JA to DX station, DX to DX station will be counted and accepted as contest QSOs.

11. JASTA Contest Results:

- The contest results will be made on [JASTA homepage](#) and Japanese "CQ ham radio" magazine .

12. The Contest Manager and Mailing Address :

JASTA Contest Secretariat Toshi JA2HYD

ja2hyd(at)jarl.com



JASTA logo & sheets down load

[LOGO mark down load](#)

[Log sheet down load](#)

[Summary sheets format down load](#)